

## 第6章 学生・就職支援

### 6-1 情報教育センター

#### 達成目標

社会での活躍を期待し、情報教育を中心に倫理観・道徳観を育み、適切な情報管理能力を身につけさせる。

#### 目標

情報教育センター開講科目の情報教育基礎科目の出席者数に対する単位取得者数を増加させる。

#### 現状説明

専任教員と非常勤講師を含めた年2回の情報教育説明会等を通じて、同一科目での講義担当者同士が授業に関する様々な情報交換を行い、FD活動の一環として授業改善を図っている。一例として、実習問題や課題の統一を図り、小テストや期末テストの問題を検討・調整するなど、単位取得率の向上を目指している。

また、実習の中でビジネスレターや報告書の書き方など、社会人としての文書作成や一般常識を教育しながら、情報を取り扱う者としての倫理観・道徳観を育み、適切な情報管理能力を身につけるように組織的に努力をしている。特に、受講者が多いシステム入門(A, B)とプログラミング科目を対象とする単位取得者数と講義出席者数に対する単位取得率を増やすように組織的に対応する事で目的の実現を図っている。

#### 点検・評価

##### <行動計画内容の実現度> S

当該目標の達成度を示す指標としての単位取得者数（単位取得率％）は、2009年度の春学期 779名（85.3％）、秋学期 819名（82.3％）、2010年度の春学期 848名（83.9％）、秋学期 1030名（87.4％）、2011年度の春学期 1677名（84.2％）、秋学期 1672名（88.0％）、2012年度の春学期 1646名（83.6％）、秋学期は推定で 2100名（85.0％）と増加傾向にあり、計画通りに行動目標を達成している。従って、行動目標の達成度は「S」と自己評価している。

##### <成果と認められる事項>

特になし。

##### <改善すべき事項>

特になし。

#### 今後の改善・改革に向けた方策

##### <長所の維持・伸長方法>

特になし。

##### <改善方策>

特になし。

## 6-2 教学部

**達成目標（1）**

退学者・長期滞留者を半減させるために、学生支援システムを活用して原因の分析を行い、必要に応じて学生の勉強面及び生活面のケア（学修上の指導や、奨学金の拡充による生活面のケア等）を行う体制を構築する。

**目 標**

**行動計画内容（a）**：各校舎の教学課等を中心に、学部学科と連携し、就学不適應者をサポートする。

**行動計画内容（b）**：学生支援システムと出席情報システムの連携。

**行動計画内容（c）**：湘南学生支援課を中心に、奨学金拡充に向け、問題点の解決案を検討する。

**行動計画内容（d）**：退学者理由の分析。

**現状説明****行動計画内容（a） 具体的取り組み**

GPA 数値と修得単位数などの指標を基に、問題点に対する解決案を検討する。

**行動計画内容（b） 具体的取り組み**

学生支援システムと出席情報システム・出席収集システムが連動したシステムを構築した。

**行動計画内容（c） 具体的取り組み**

現在の奨学金利用状況を確認及び分析を行い、奨学金制度の再構築を実施するために、規程の改訂を提案し、改訂を行なう。

**行動計画内容（d） 具体的取り組み**

過去の退学理由データ集積及び分析を行うとともに、退学者数及びその理由等を常務理事会等に報告した。

**点検・評価****<行動計画内容（a）の実現度> B**

各校舎から集めた指標データに基づき、現状把握及び指導上の問題点の検討を行い、今後の新学修指導体制を検討し、問題解決案を検討した。

**<行動計画内容（b）の実現度> S**

昨年度より本格稼働している。出席情報集積率は、学科単位では、ほぼ全ての学科で科目数に差はあるが順調に運用されている。

**<行動計画内容（c）の実現度> S**

奨学金制度の再構築の一環として、各種規程の改訂を行なうことが必要となり、12本の規程の改訂を行なった。

**<行動計画内容（d）の実現度> B**

年度別（過去5年間）セメスター別に退学及び除籍者数一覧表及びその理由別一覧表を

作成し、現状分析とともに学部長会議に報告すべく、継続して検討する。

**<成果と認められる事項>**

退学理由のデータ化により、全体的傾向及び社会的状況と退学理由に相関があることが判明した成果を継続的に収集できている。

学生情報専門部会にて、出席情報を簡便に収集できる収集システムの仕組みを検討し、実現し、運用できている。

**<改善すべき事項>**

校舎ごとで支援体制が異なるため、関係部署との連携が継続的に必要である。

学部学科間の格差があることから、その差を解消しながら、検討する必要性がある。

経済的理由で大学を去る学生に対しての奨学金希望の有無等の調査・分析を実施する。

**今後の改善・改革に向けた方策**

**<長所の維持・伸長方法>**

退学・除籍のデータを定期的に、学部長会議、大学院運営委員会に報告し、情報を共有するとともに、初年次教育からの学生指導の徹底化を各学科に啓発する。

**<改善方策>**

各校舎の学生サポート組織体制及び関係部署との連携体制を検証のうえ改善するとともに学部間格差を解消するため、学生指導対象者の相談結果を学生支援システムに反映させるよう、各種会議を通じて啓発する。

**達成目標（2）**

キャリア教育を充実させ、インターンシップの単位化を進めるとともに、企業等の見学の機会をより多く設ける。

**目 標**

行動計画内容（a）：カリキュラムへの展開。

行動計画内容（b）：インターンシップなど体験型学修の授業科目への展開。

行動計画内容（c）：キャリア教育のカリキュラムへの導入推進。

**現状説明****行動計画内容（a） 具体的取り組み**

履修人数の推移及び分析を実施し、開講コマ数の適正化及び適正コマ数に見合う担当教員数を確保した。

**行動計画内容（b） 具体的取り組み**

インターンシップ科目の調査を継続的に行った。

**行動計画内容（c） 具体的取り組み**

現在のキャリア科目の調査及び検証を行い、学科でのキャリア教育と大学としてのキャリア教育を明確化するとともに、カリキュラム編成時のガイドラインを作成した。

**点検・評価****<行動計画内容（a）の実現度> S**

カリキュラムの科目区分Vに科目を増設し、開講クラスも増加している。また、旧カリキュラム生にも受講を開放し、門戸を広げている。学部学科では、主専攻科目としてインターンシップ科目を実施している。

**<行動計画内容（b）の実現度> B**

インターンシップの実施状況を調査し、開講科目の継続的な確認を行っている。

**<行動計画内容（c）の実現度> A**

カリキュラム改訂に従い、順次学部学科のカリキュラムに設置している。

**<成果と認められる事項>**

特になし。

**<改善すべき事項>**

関連科目の今後の開講クラス数や教員数の適正化を図る。

受入企業と大学が求める教育目標の不一致があった。大学の求める教育目標を明確化する。

**今後の改善・改革に向けた方策****<長所の維持・伸長方法>**

特になし。

**<改善方法>**

順次、教員補充を行い、開講コマ数も増加させるなど、学生の履修しやすい環境にする。

実施にあたっての大学が求める教育目標が実施できる企業を選定する。

体験型学習の単位付与には、実施方法及び時間数などの問題もあることから、原案を作

成し、常任教務委員会で継続的に審議する。

**達成目標（3）**

就職支援を強化することにより、就職率を増加させる。

**目 標**

就職説明会の拡大。

**現状説明**

〔伊勢原教学課〕

キャリア支援センターとともに、校舎別動向の分析及び地域性を把握し、学生の希望収集システムの改修を実施した。

〔代々木教学課〕

観光学部1期生（3年次生）の湘南校舎からの移動に伴い、昨年度までの少人数対応から230余名規模の、学生個々の希望・特性を十分に把握し、きめ細かな就職支援を実施する。

**点検・評価****<行動計画内容の実現度> A**

〔伊勢原教学課〕

システム内容を検証のうえ、2012年度の説明会等の計画に利用した。

〔代々木教学課〕

観光学部学生の移動に伴い、学部の特徴に合わせた業界研究を含め、就職説明会を実施した。

**<成果と認められる事項>**

〔代々木教学課〕

主たる就職支援の対象は観光学部1期生であったが、1期生故、見本となる上級学年の学生の存在が無いため、早期に就職の意識を持たせることを目的に、他校舎に先駆け5月8日に第1回就職ガイダンスを実施した。また、秋学期開始早々、学生個々の状況や希望を十分に把握するよう個別面談、個別指導をした。

**<改善すべき事項>**

〔伊勢原教学課〕

地域社会・企業の動向を注視し、システムを活用のうえ、より早期の対策を立案・実行する。

**今後の改善・改革に向けた方策****<長所の維持・伸長方法>**

特になし。

**<改善方法>**

〔伊勢原教学課〕

キャリア支援センター及び学科教員と定期的に早期に協議のうえ計画・立案する。また、前年度のシステムを評価し、次年度の説明会を計画する。

〔代々木教学課〕

観光学部の特徴を活かした就職指導とするため、キャリア支援センター及び学科教員と

定期的に協議の上、今後の説明会を計画・立案する。

**達成目標（4）**

精神的に不安定な学生をケアするために、学生相談機能を強化する。

**目 標**

**行動計画内容（a）**：学内関連部署と連携の下、学生相談業務の充実を図る。

**行動計画内容（b）**：BaB News、相談対応事例集の継続刊行。

**現状説明****行動計画内容（a） 具体的取り組み**

〔湘南学生支援課〕

当該部署間において、その都度対象となる学生を特定した情報交換を行い、早期からの対応を実施した。また、今年度も相談職員を育成することができた。

〔清水教学課〕

支援を必要としている学生に対してその都度、関係者による適切な支援の検討会を行った。正確な状況を把握し、問題を持ちながらも授業等への出席や学生生活が可能となるよう対応した。特に精神的に不安定な学生の支援について父母（家族）の役割を重要視し、支援ネットワークに組み入れた。

**行動計画内容（b） 具体的取り組み**

全体構成及び記載項目の見直しを行い、各課と協力し作成する体制を構築した。

**点検・評価****<行動計画内容（a）の実現度> S**

〔湘南学生支援課〕

適宜、情報交換会を開催し、各部署協力のもと対応ができた。また、相談員の充実を進めた。相談職員の育成は課員を学会や研修会に参加させることで達成できた。

〔清水教学課〕

定期的な打合会を継続することで日常的にも迅速、スムーズに連携をとれる体制が整い、手当、支援を必要とする学生のサポートが早期に実行できた。

**<行動計画内容（b）の実現度> B**

昨年、BaB News の紙面に年1回の特集記事を編集することに変更したが、創刊100号の記念号や時候にあわせた記事などでメンタルケアの記事を盛り込むことができなかった。

**<成果と認められる事項>**

〔清水教学課〕

連携した対応を経験された教職員が増えることで、学生相談に対する理解も深まり、心配な学生の情報が早期に寄せられることが多くなり、早期発見、早期ケアにつながった。また、家族への丁寧できめ細かい対応の結果、父母からの感謝の言葉も多く届き信頼度が増している。

**<改善すべき事項>**

清水校舎において、学内での連携を十分に機能させるためには、日頃から心理相談に関する情報や知識、方法などを教職員に周知されることが必要である。そのための、講座・研修会等の実施が必要である。

今後の改善・改革に向けた方策

<長所の維持・伸長方法>

特になし。

<改善方法>

学生相談業務体制の構築に向け、カウンセラーの増員等を関係部署と協議する。

清水校舎において、特に、個々の教職員間の裁量に任されている学生対応の連携において定期的且つ継続的な情報交換や効果的な連携のための研修会が必要である。

**達成目標（5）**

社会での活躍を期待し、情報教育を中心に倫理観・道徳観を育み、適切な情報管理能力を身につけさせる。

**目 標**

カリキュラムへの展開。

**現状説明**

情報科目の履修者データの集積を行い、履修者数を比較し、人気科目と不人気科目の選別を実施した。その結果に基づき、開講クラス数の検討など時間割編成に反映させた。

**点検・評価****<行動計画内容の実限度> B**

情報教育センター、総合情報センターとの三者共通認識に基づき、開講状況の集積結果を時間割編成に反映した。

**<成果と認められる事項>**

特になし。

**<改善すべき事項>**

内容のレベルが高い科目は、履修人数が少なく、科目間のばらつきがあることが判明した。履修人数や履修制限を実施した科目を調査し、適正な開講クラス数とする。

**今後の改善・改革に向けた方策****<長所の維持・伸長方法>**

特になし。

**<改善方法>**

適正開講に向け、開講曜日・時限及びシラバス内容を三者で協議のうえ継続的に問題を解決する。

### 6-3 キャリア支援センター

#### 達成目標（1）

キャリア教育を充実させるため、本学独自のインターンシップ制度「東海JOB-LEAGUE」で、学生を受け入れている企業数を60社から各年次に受入れていただける企業数を増やすとともに、インターンシップ実施にあたり学内での周知を図る。

#### 目標

企業に対して現状（1回）のインターンシップに関する説明会の回数を増やす。

#### 現状説明

年2回実施する学部ごとの就職委員会でインターンシップの実施について説明し、理解と協力を得られることに努めた。

併せて、地区後援会総会および保護者向け就職説明会にて、インターンシップの重要性を保護者にご理解いただき、参加への促進に努めた。

学生へは、インターンシップに関わるガイダンスを開催し、「東海JOB-LEAGUE」以外のインターンシップについても説明し参加を促した。参加学生へは、事前研修および事後研修を実施し、体験後のフォローにも努めた。

#### 点検・評価

##### <行動計画内容の実現度> S

「東海JOB-LEAGUE」に関しては、今年度の受け入れ企業数は68社となった。受け入れ企業についても九州地区が大幅に増え、九州キャンパスの学生および九州出身者が参加しやすくなった。例として、湘南キャンパス在籍者4名が九州地区のインターンシップに参加した。

実現度は「S」と自己評価できる。

##### <成果と認められる事項>

特記事項なし。

##### <改善すべき事項>

特記事項なし。

#### 今後の改善・改革に向けた方策

##### <長所の維持・伸長方法>

現状は、2年次生の2月～3月実施を中心に「東海JOB-LEAGUE」を開催しているが、学生のスケジュールにも配慮し、3年次の夏季休暇期間での実施についても積極的に受け入れをする。

##### <改善方策>

企業への依頼の際、夏季休暇実施についても積極的に提案する。

### 達成目標（2）

就職支援を強化することにより、学生の就職に対する満足度を上げる。現状の満足度を100として各年次に満足度を向上させる。

### 目 標

キャリア支援課の学生対応、相談を強化する。  
現状（6名）のカウンセラーの人員数の増加を図る。

### 現状説明

人件費等の関係で、現状と同数となった。  
カウンセラーは増員できなかったが、湘南キャンパスでは平塚ハローワーク、九州キャンパスでは熊本ハローワークの協力もあり、定期的に相談員の派遣を得ることができたため、相談員の不足分については補えた。  
ハローワークから派遣人員については、繁忙期、非繁忙期で調整が可能のため、今後も活用して行きたい。

### 点検・評価

#### <行動計画内容の実現度> B

目標の増員とはならなかった。  
実現度は「B」と自己評価できる。

#### <成果と認められる事項>

経費の掛からない実施ができた。

#### <改善すべき事項>

「満足度」を計る物指しとして、利用学生へのアンケート調査を実施する。

### 今後の改善・改革に向けた方策

#### <長所の維持・伸長方法>

ハローワーク相談員を活用する事で、大学に無い求人情報等をタイムリーに得ることが出来、学生へのサービス提供は維持できた。

#### <改善方策>

特記事項なし。

## 6-4 健康推進センター

**達成目標**

精神的に不安定な学生をケアするために、学生相談機能を強化する。

**目 標**

利用者の満足度調査を行い、その満足度の改善を図る。

**現状説明**

健康推進室（学生相談）を利用する学生の満足度調査は2年間（2010年度と2011年度）継続して実施し、健康推進センターで集計・分析を行った。

アンケートは、カウンセリング実施時に調査するのみであり、特に利用後のアンケートが取れていなく、必要な改善点を導く指標とするには絶対的に利用後のアンケートのサンプル数が不足しているのが現状である。そのため、2012年度は学生アンケートの実施を一時休止して、過去2年間のカウンセリング実施時に調査した学生アンケート結果に基づく改善活動（保健師・カウンセラー間のミーティング実施による面接予約方法・多目的室の利用ルールの見直し、保健師・カウンセラー間の連携協力）を推進することとした。

**点検・評価****<行動計画内容の実現度> B**

アンケート結果に基づき保健師・カウンセラー間でミーティングを行い、必要な改善をおこなった。ただし、2012年度の学生満足度調査が未実施であることから、実現度は「B」と自己評価できる。

**<成果と認められる事項>**

年2回（3月14日と7月25日）、保健師・カウンセラーミーティングを開催し、面接予約方法、多目的室の利用ルールの見直し、保健師・カウンセラー間の連携協力などについて、意見交換が交わされ、健康推進室（学生相談）における改善事項について確認がなされ実行された。

**<改善すべき事項>**

精神科医師を交えて保健師・カウンセラーとのミーティングを実施し、連携をさらに推進する必要がある。

相談担当者の資質能力を組織的に向上させる研修の仕組みが必要である。

**今後の改善・改革に向けた方策****<長所の維持・伸長方法>**

保健師とカウンセラーとのミーティングを年3回以上行い、さらに健康推進室（学生相談）の満足度を向上できる改善活動を推進する。

**<改善方策>**

保健師・精神科管理医師・カウンセラー・事務での年2回のカンファレンスを実施し、今後も改善点を模索し実行に移す。担当者の学生相談対応能力を向上させるため系統的な研修態勢を整備するとともに研修に参加する人数を増やす。